

【泌尿器科】

1. 概要・特徴

当科で扱う臓器は副腎、腎、尿管、膀胱、前立腺、尿道、精巣、陰茎、などである。腎癌、腎盂尿管癌、膀胱癌、前立腺癌、精巣腫瘍、陰茎癌といった悪性腫瘍や後腹膜腫瘍。腎結石、尿管結石などの尿路結石症。排尿にかかわる膀胱、尿道の機能障害。小児の様々な尿路、性器の先天性疾患。急性腎盂腎炎や急性前立腺炎などの尿路感染症等を当科で治療している。診断から治療さらにはフォローアップまで一貫して診ることが特徴である

2. 一般目標

- 1)泌尿器科疾患について適切な診断、治療を行うことを目標とする。そのため、泌尿器科領域の基本的な臨床知識を習得し、診断に必要な問診、診察、検査を行えるようにする
- 2)各疾患に対する薬物療法、化学療法、手術による加療を理解し、指導医の指導のもと、適切に行えることを目標とする

3. 行動目標

- 1)患者の病歴聴取とカルテ記載ができる
- 2)泌尿器科疾患の診断に必要な腹部の診察や直腸診を行うことができる
- 3)診断に必要な検査を選択し実施できる
- 4)疾患ごとに病態から適切に治療方法を選択し、治療を指導医のもとで実施できる
- 5)救急疾患において、泌尿器科疾患の診断、治療および他疾患の除外診断を行うことができる

4. 研修方略

- 1)泌尿器科チームの一人として指導医・専門医の指導のもと、外来・入院患者の診察にあたり、患者への対応方法、病歴聴取を習得し各疾患の理解を深める
- 2)毎日回診を行い、身体診察、創傷処置、カテーテル留置、抜去などの基本手技、術後管理の理解を深めるとともに、SORPに沿ったカルテ記載を習得する
- 3)外来・入院患者に膀胱鏡、腹部エコー検査等を実施し評価する
- 4)救急診療において、指導医・専門医と患者を診察し、検査・診断・治療方法を研修する
- 5)手術に参加し手術の基本手技を理解し習得する

※2回目以降ローテートする場合は、指導医・上級医が研修医の能力レベルを見極め個別に判断し研修を実施する

5. 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	外来	外来	外来	外来	外来

	病棟回診	病棟回診	病棟回診 手術	病棟回診 手術	病棟回診
午後	外来	手術	手術	手術	外来
夕方	病棟回診 カンファレン ス	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診 カンファレン ス

6. 指導体制

指導責任者:指導医 第一泌尿器科部長 北 雅史

7. 評価方法

北見赤十字病院初期臨床研修プログラムの規定に準ずる